

# 専修大学

# 図書館だより

第47号 2002.1

## 目次

図書館とインターネット (高津信三) .....	2~3
図書館再入門-試験期活用バージョン-Q&A .....	4~5
生田分館開館記念-特別展示(全3部)を終えて-	5
図書購入基本カードがモデルチェンジ .....	6
和書の受入冊数700000突破 .....	6
生田分館からのお知らせ .....	7
としょかんインフォメーション .....	8

### 各館カウンター風景



広々とした本館



家庭的な雰囲気の生田分館



親しみやすい神田分館

# 図書館とインターネット



高津 信三

図書館は、図書を一定の体系（日本十進分類法）に従い、分類・整理している。この分類法はある図書とそれに割り振られる分類番号が1対1に対応するほどの厳密さを備えていないため、分類担当者の恣意性が混入することもある。例えば、情報に関連した図書は社会科学分野、自然科学分野、工学分野などに分散されて配架されている。そのため、分類に疑問を感ずる場合もある。人間の思考を完全に分類できない以上、図書の分類体系に多少の曖昧さが存在するのはやむをえない。

蔵書数と組織化の度合いが、図書館評価の尺度の一部となっている。大学図書館などでは、教科書や参考書類は同一図書であっても重複して確保されるべきであり、研究用図書は重複を避け幅広く収集されるべきである。雑誌に関しては、保存に関する選択基準が難しいと思われる。使い捨てに近い雑誌でも、後には重要な文献となる可能性がある。いくつかの大学で漫画やアニメに関する講座や学科が新設されている。これらを十分に研究するには、昔の少年サンデーや少年マガジンなどを入手する必要も出てくる。週刊誌形式のこうした雑誌は昭和30年代に発刊されたので、いま全部収集しようとしても不可能に近い。

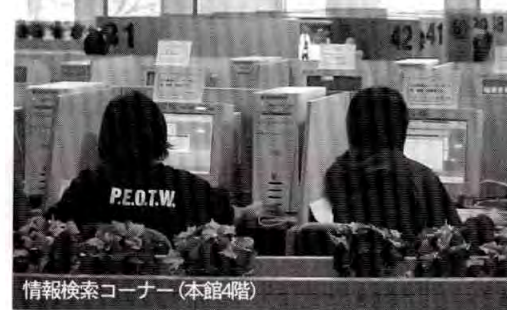
研究誌を整理（購入中止）しようとする際、閲覧件数が評価基準として採用される可能性が高い。しかし、閲覧件数は必ずしも研究誌の重要性を反映しない。例えば、経営学関連学部のある大学図書館で、ハーバード・ビジネス・レビュー（HBR）誌がなかったりすれば、図書館としての格式を疑われるであろう。こうした図書館では、たとえ閲覧件数がゼロであっても、HBRを購入し続けるべきである。

組織化の度合いに対する尺度は、図書分類番号以外には基本的に存在しない。もちろん個人の蔵書（〇〇文庫など）や特別の目的のための図書館などの場合は、かなり綿密に組織化されている。大学図書館においては、教科書、参考書類は学部別に組織化してもよいと思われる。



蔵書数を確保するためには保管のための空間も確保する必要があり、どこの図書館も増設を重ねる例が多い。一時期、保管の空間を圧縮するものとして、マイクロフィルムやマイクロフィッシュなどが期待された。マイクロフィルムは高解像度ポジフィルムに文献を連続的に撮影し、映画フィルムと同様に保管する。マイクロフィッシュはポジフィルムシートに複数のページを分割して撮影するため、保管は比較的容易である。しかし両者ともに、閲覧のための設備と空間が必要であった。撮影、現像のコストが高額であること、閲覧設備の投資もかなり必要であること、基本的に写真のフィルムであるため損傷を受けやすく、自然劣化もしやすいことなどでそれほど普及しなかった。

現在では、CD-ROM 2枚程度で平凡社の大百科事典全巻を収録できるため、これからはCD-



ROM、DVD-ROMによる図書の販売、保管が主流になり、保管スペースの問題は軽減されるであろう。こうした媒体による蔵書の比率が増えてくれば、図書館に閲覧のための端末を相当数用意する必要が出てくる。新たな管理上の問題も発生する。例えば、CD-ROMやDVD-ROMに記録された文献をサーバー上に保管した場合、同一文献に対して複数のアクセスを許すかどうか（ライセンス数）、検索個所のコピーを許すかどうか（著作権）などの問題が発生する。

インターネットが普及して、種々のWEBサイトが膨大な情報を発信している。このため、インターネット自体が巨大な図書館に変身している。インターネットから情報を検索する場合、検索エンジンを使う。検索エンジンには検索順序を決定するためのアルゴリズムが組み込まれて



おり、アルゴリズムの相異により検索順序も異なる。

「検索件数が多い＝重要な情報」という誤解がある。WEBサイト側では、検索件数を増やすために種々工夫している。この工夫は必ずしも情報の正しさを反映していない。先日、ネットワーク情報学部の1年生に経済記事を読む時に必要な経営学・組織論関係の専門用語を20ほど調べさせた。彼らは、インターネットから抽出した情報を彼らなりにまとめてきた。彼らのレポートには驚くほどの相似性があった。彼らは独立にレポートを作成するよう指導されており、コピーなどする可能性はない。この相似性は彼らが検索に用いた検索エンジンに依存している。しかも、かなりの専門用語は経営学・組織論で説明されている内容とは大きく異なっていた。WEBに情報を公開している人たちは、必ずしもその分野の専門家ではない。自己の立場を強烈に表現するために過激な言葉を用い、聞きかじりの知識に自己の体験を混濁させて表現していることが多い。



専門用語の検索は、オーソドックスに専門分野の辞書・事典を検索すべきである。インターネットによる専門分野の情報収集は、基礎的な専門知識を身に付けてからでも遅くはない。

(たかつ しんぞう：ネットワーク情報学部長・教授)

# 図書館再入門

## 試験期活用バージョン Q&A



### Q. 本はどうやって探すの？

A. 探し方はいろいろですが、次のような探し方で活用してください。

#### ① 図書館随所にあるOPAC(オンライン閲覧用目録)を使用して探せます。

タイトル・著者名・キーワードなどから検索することができます。詳細は各端末にあるマニュアルを参照してください。

#### ② 日本十進分類法から区分表で探す。

タイトル・著者名が分からず、区分しか分からない場合には、図書館に掲示してある日本十進分類法(NDC第2次区分表)で調べることができます。

例)「経済」の図書を借りて読みたいのですが…。

日本十進分類法を見ると、33 経済とあるので、専修大学図書館ではこの数字の後に0をつけます。  
\* 本館では、経済の場合 330(2階ブルー区画)か前にKをつけてK330(K330~K339までを指します)「3階第1開架閲覧室」になります。

"K"という区画記号は、本館の学習用和図書に与えられており、"K"のついた図書は3階・4階の閲覧室にあります。学部の学生は直接書架に行って探す場合、2階よりも3階・4階の方が分かり易い本が多いでしょう。

●その他のジャンルは図書館カウンターの小冊子『図書館利用案内』を見て、分類番号を確認してください。

### Q. 本はどうやって借りるの？

A. 各館のカウンターに学生証と借りたい本(図書資料)を持って来てください。

### Q. 辞書・事典はどこにあるの？ 借りることはできるの？

A. 各館の参考図書の書架(和書・洋書)にあります。請求記号(図書ラベル)の最初に「R」がつく図書資料です。

他大学等の蔵書目録	: R029
西洋哲学事典	: R130
日本史事典	: R210
経済学事典	: R330
教育関係の文献目録	: R370
名作映画事典	: R778
日本文学事典	: R910

請求記号に「B、R、S」がついている資料、「禁帯出」の赤いシールが貼ってある資料は貸し出しできません。館内で利用してください。

### Q. 情報検索はどこでできるの？

A. 専修大学図書館で購入しているCD-ROM(JBISCほか)やオンライン・データ・ベース(有価証券報告書総覧ほか)は本館4階情報検索コーナー・神田分館情報検索コーナーで検索することができます。また、インターネットを利用して情報検索をすることもできます。各館カウンターで受け付けをして指定の端末で利用してください。

### Q. コピー機はどこにあるの？

A. 各館にコピー機があります。

本館には

- 3階ブラウジング・プラザに1台
- 3階コピー室4台(カラーコピー機1台)
- 4階2台・M3階2台・2階1台あります。

生田分館には

- 1階ロビー「第1閲覧室前」に2台
- 3階ロビー「第3A閲覧室前」に1台あります。

神田分館には、

- 1階軽読書コーナーに2台(カラーコピー機1台)、1階カウンター前に1台、地下2

階書庫に1台あります。

\* 図書館の資料のみのコピーです。ノートなどのコピーはできませんので気をつけてください。

本館3階コピー室前にコピーカード発売機があります。また、コピーのための両替はカウンターではしておりません。

### Q. 神田分館のCD-ROMはどんなものがありますか？またどんな使い方、借り方をすればいいのですか？

A. CD-ROMは貸出はできませんが、利用する場合は図書館内のパソコンを使って、プリントアウトや調べものなど自由に活用してください。

#### 神田分館・法律関係のCD-ROM

判例マスター

日本の判例情報。

1947年以降に公開された、すべての分野の判例の詳細な書誌情報と、わかりやすい要約を収録。

法律判例文献情報

日本の判例情報と法学文献の索引。

1982年以降に発行された図書、法律専門誌、研究紀要、新聞等の中から法律に関する文献と認められるものを収録。現在は、1999年までの情報を収録中。最新の文献情報については、月刊誌の『法律判例文献情報』(R320/H89)を参照。

判例体系

『判例体系』(B320/H29)のCD-ROM版。大審院時代からの判例を収録しており、判例の全文、要旨、書誌情報を収録。

現行法規

『現行法規総覧(全119冊)』を情報源とし、法律・政令・省令や関連する法令の条文を収録。「判例体系」CD-ROMとリンクさせ、相互に検索が可能。



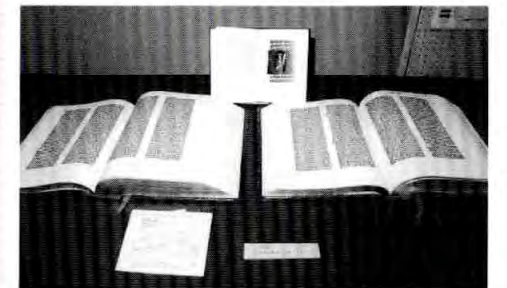
## 生田分館開館記念

### — 特別展示(全3部)を終えて —

第1部の特別展示『西洋文字遺産集成』(4月2日~5月25日、本館ブラウジング・プラザ)は、人類史上最初の文字であるメソポタミアの楔形文字に始まり、粘土板やパピルスなど様々な書写材料に書かれた文字を見ていただきました。アンケートでは、「今後もこのような貴重な資料を展示してほしい」という要望が多数寄せられました。

第2部では、ビデオ『書物5000年』全13巻(4月~10月、本館AVルーム)を上映しました。残念ながらあまり反響を得ることは出来ず、設定した時間や場所、企画、広報の方法など、今後の課題として再考の必要性を感じました。

第3部の特別展示『美しい書物の世界—西洋中世の写本から初期刊本まで—』(11月1日~12月8日、本館研修室)は、羊皮紙に華麗な装飾がほどこされた写本のオリジナルの零葉や、グーテンベルクの『42行聖書』などのファクシミリ版を展示しました。入場者は延べ約900人を数え、アンケートでは、ファクシミリ版を自由に触れて観賞できたことや、中世の美しい書物に感動したという感想と「今後も、このような展示を引き続き望む」という希望の声をたくさん戴きました。



グーテンベルクの『42行聖書』マザラン版  
ファクシミリ版 パリ マザラン文庫所蔵

図書館では皆さんのアンケートを参考に、今後も様々な資料を展示していきたいと思っています。ご期待ください。

## 図書購入基本カードがモデルチェンジ

図書館では利用者の皆さんから図書購入のリクエストを受け付けていますが、昨年4月の図書館新システム導入および生田分館の開館にとともに、11月に「専修大学図書館図書購入基本カード」の様式を一部変更しました。

図書のリクエストは、この図書購入基本カードの太線内に必要事項をなるべく詳しく記入してください。記入事項が不正確だと購入できないことがあります。なお、バーコード付きの旧カードを持っている方は、しばらくの間は受け付けます。

### 《学生用》

専修大学図書館図書購入基本カード		OR 4	
14年11月7日	著者 小泉 龍人	購入結果の連絡先(必須)	
E13-932/A	書名 都市誕生の考古学	購入結果の連絡先(必須)	
氏名	教育名 世界の考古学 17	購入結果の連絡先(必須)	
秋花子	出版社 同成社	200年	定価 2,500円
ISBN-10	ISBN-13	購入結果の連絡先(必須)	
	4-88621-232-8	購入結果の連絡先(必須)	
送料形態	送料形態(送料・送料別・送料別)		
発行元	発注先	分類	受注
予算区分			

- ・記入後、図書館各館カウンターに提出してください。
- ・購入結果は提出した図書館に提示でお知らせします。

### 《教員用》

専修大学図書館図書購入基本カード		OR 4	
14年11月7日	著者 藤原 現代日本 全4巻	購入結果の連絡先(必須)	
教授教務	書名 藤原 現代日本 全4巻	購入結果の連絡先(必須)	
氏名	教育名	購入結果の連絡先(必須)	
生田太郎	出版社 大月書店	合計	12,000円
ISBN-10	ISBN-13	購入結果の連絡先(必須)	
		購入結果の連絡先(必須)	
送料形態	送料形態(送料・送料別・送料別)		
発行元	発注先	分類	受注
予算区分			

- ・記入後、図書館委員にお渡しください。
- ・購入結果の連絡が必要な方は回答欄に○をつけてください。

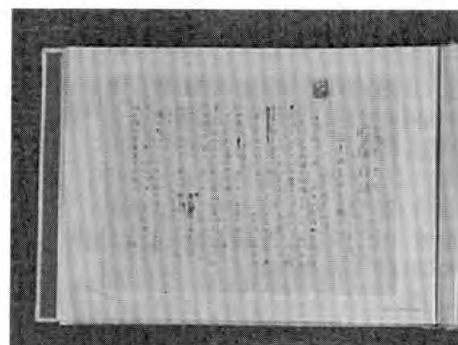
## 和書の受入冊数700000突破

平成13年10月18日、図書館和書の70万冊目の受入作業が本館で行われました。記念すべき図書となったのは、『複製近代文学手稿100選』（日本近代文学館編 二玄社）。森鷗外「舞姫」から三島由紀夫「春の雪」までの、近代文学を代表する作品の原稿を複製したものです。

ちなみに、10万冊目は昭和44年8月受入の『ロマン・ロラン全集』第13巻（みすず書房）、50万冊目は平成3年4月受入の『白馬節会研究と資料』（中田武司編 桜楓社）です。図書館の蔵書冊数は、10月末、合計で1,226,000冊を超えました。



『複製近代文学手稿100選』



志賀直哉著『暗夜行路』前篇の原稿(複製)

## 生田分館からのお知らせ

みで、貸出はしていませんが、コピーをとることはできます。

本館と生田分館にも所蔵されており、そちらでは貸出もできますが、一括して収集しているのが生田分館の特徴です。

試験勉強の季節。大いに活用してください。

### ● 自習施設を大いに活用しよう

生田分館では多くの学生が自学自習することができます。また、くつろいだ雰囲気を利用して、広いスペースと多数の座席を設けてあります。

1階の第1閲覧室を始め、各階にある閲覧室はそれぞれ静かな環境で自習するのに適しています。本館とは違う味わいがあり、4階、5階の窓から見える外の景色も一幅の風景画のようです。



### ● ブラウジングコーナー

生田分館1階のブラウジングコーナーには、新聞、雑誌が配架されています。本館と重複するものもありますが、所狭しと並んでいます。新聞は4大紙（朝日、読売、日経、毎日）があり、雑誌は、気軽に手に取れるものから、ちょっと専門的なものまで幅広く揃っています。読みたい雑誌がありましたら、どしどしリクエストをお願いします。ほかにも、資格試験のガイドブックがあり、資格取得の手助けになるかも知れません。



それぞれの好みに合わせて利用したい閲覧室を選び、終日籠もるのもいいでしょう。

試験期だからこそ生田分館を大いに活用しよう。

### ● 教員推薦図書を利用しよう

各学部の教員が『講義要項』や『学習ガイドブック』のなかから推薦した図書で、授業に関係の深い図書を中心に集めています。現在は館内閲覧の



### 図書館利用上の注意

1. 盗難注意。貴重品は常に持ち歩いてください。
2. 書棚で図書を探るときは、同じ請求記号の周もよく見ながら探してください。
3. 図書館内のコピー機は、図書資料専用です。ノートのコピーはできません。コピー機を利用するときは整列し、順番を守って利用してください。
4. 図書資料の無断持ち出しはできません。図書資料を館外へ持ち出すときには、必ずカウンターで貸出し手続きを済ませてください。
5. 館内で利用した図書は取出した階の返却台に返却してください。
6. 大きな荷物はロッカーに預けてください。
7. 館内での飲食はできません。
8. その他図書館の利用で困ったことは図書館員に聞いてください。

## 図書館カレンダー

日	1月	2月	3月
1	火 休館	金 休館	金
2	水 休館	土	土 神田分館のみ休館
3	木 休館	日 休館	日 休館
4	金 休館	月	月
5	土 休館	火	火
6	日 休館	水	水
7	月	木	木
8	火	金 休館	金
9	水	土 休館	土
10	木	日 休館	日 休館
11	金	月 休館	月
12	土	火 休館	火
13	日 休館	水 休館	水
14	月 休館	木 休館	木
15	火	金	金
16	水	土	土
17	木	日 休館	日 休館
18	金	月	月
19	土 補・特別休館	火	火
20	日 休館	水	水
21	月 春期特別貸出開始	木	木 休館
22	火	金	金 休館 卒業式
23	水	土	土
24	木	日 休館	日 休館 オープンキャンパス
25	金	月	月
26	土	火	火
27	日 休館	水	水 春期特別貸出終了
28	月	木	木
29	火		金
30	水		土
31	木		日 休館

- 本館：9:00～20:00  
(土曜日 9:00～18:00)  
生田分館：9:00～19:00  
(土曜日 9:00～18:00)  
神田分館：9:00～22:00  
(土曜日 9:00～22:00)
- 本館：9:00～17:00  
(土曜日 9:00～12:00)  
生田分館：9:00～17:00  
(土曜日 9:00～12:00)  
神田分館：9:00～19:30  
(土曜日 9:00～14:30)

### 開館情報 (1～3月)

● 次の期間は開館時間の変更、または休館となります。

1月19日(土) 大学入試センター試験

本館・生田分館：休館

神田分館：9時～22時

2月1日(金) 地区入試

本館、生田分館、神田分館ともに休館

2月8日(金)～2月14日(木) 一般入試期間

本館、生田分館、神田分館ともに休館

2月20日(水)～2月26日(火) 追試験期間

本館：月～金 9時～20時

土 9時～18時

生田分館：月～金 9時～19時

土 9時～18時

神田分館：月～土 9時～22時

3月2日(土) 一般入試(二部)

本館：9時～12時

生田分館：9時～12時

神田分館：休館

3月22日(金) 卒業式

本館、生田分館、神田分館ともに休館

### 本館3階研修室の開放について

学年末試験期間、臨時閲覧室として学生に開放します。

### 春期休暇期間(開館時間短縮)

1月26日(土)～3月31日(日)

本館：月～金 9時～17時

土 9時～12時

生田分館：月～金 9時～17時

土 9時～12時

神田分館：月～金 9時～19時30分

土 9時～14時30分

### 春期特別貸出について

春期休暇にともない、下記の要領で実施します。

対象者：学部学生

取扱期間：1月21日(月)～3月27日(水)

貸出冊数：10冊まで

返却期限日：4月15日(月)

### 卒業年次生の皆さんへ

卒業年次生への貸出図書の返却期限は次のとおりです。

学部学生 3月20日(水)

大学院生 3月23日(土)

卒業後も、本学図書館を利用することができます。

図書館利用時にカウンターで卒業生であることを申し出て、利用手続きをしてください。

### 専修大学図書館だより 第47号

発行日：2002年1月7日

編集・発行：専修大学図書館

館長 久重 忠夫

専修大学図書館

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

〒214-8580 Tel. 044-911-1274(直)

専修大学図書館生田分館

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

〒214-8580 Tel. 044-911-7138(直)

専修大学図書館神田分館

東京都千代田区神田神保町3-8

〒101-8425 Tel. 03-3265-8339(直)

URL: <http://www.senshu-u.ac.jp/>

(専修大学トップページ)